

2022年度

第54回 事業報告

自 2022年 1月 1日

至 2022年12月31日

2023年度

事業計画書

一般社団法人鴨川青年会議所

目次

★2022年度事業報告

| | |
|-------------------------------------|----|
| 理事長報告 | 3 |
| 副理事長・専務理事・監事報告 | 4 |
| 事項別事業報告 | |
| 1. 組織 | 6 |
| 2. 会議 | 6 |
| 3. 理事会 | 7 |
| 4. 例会 | 12 |
| 5. 委員会報告 | |
| J C運動実践委員会 | 14 |
| 6. 収支決算報告書 | 16 |
| 7. 事務局準備金明細書、周年準備金明細書、固定資産明細書、貸借対照表 | 18 |
| 8. 財産目録、監査報告書 | 19 |
| 9. 正味財産増減計算書 | 20 |

★2023年度事業計画案

| | |
|------------|----|
| 理事長所信 | 21 |
| 委員会事業計画 | 25 |
| 収支予算 | 26 |
| 組織図 | 28 |
| 役員名簿・出向者名簿 | 29 |
| 年初決定事項 | 30 |

理事長報告

【スローガン】

必笑

2022年度 理事長 須金幹晴

はじめに、2022年度「必笑」のスローガンのもと、未だ新型コロナウイルス感染症の影響を受け、制限のある生活を強いられながらも、精力的にJC運動に取り組んでいた皆さまに、心からの感謝を申し上げます。

新たに新入会員を5名迎え入れ、1年間JC運動を展開致しました。社会情勢を鑑みて、例会を行えない月があり、諸会議も簡略化するなどと、正直なところまだまだ正常な組織としてのJC運動が行えていたとは言えません。しかしながら、状況を見極め、地域に必要なとされる運動を模索し、可能な限りを精一杯行い、メンバー一人ひとりが何かしらの成長が見える1年であったと感じております。また、2022年度卒業生2名をしっかりと送り出せたことも、会として印象深い思い出になりました。

特筆すべきものとして10月例会、小湊地区さとうみ学校で行った事業においては、事業目的、事業の効果、事業に至る経緯、手法、パートナー及び地域の巻き込み方等、多方面の方々から大いに評価され、千葉ブロック協議会ブロックアワードにおいて、グランプリを受賞させていただきました。メンバー一人ひとりの力強い情熱が他団体や地域・個人を動かし、ご来場いただいた方々の笑顔を創出し、また運営側の我々も笑うことのできる素晴らしい運動となりました。掲げたスローガンを体現することができ、グランプリ受賞。個人的には理事長冥利に尽きるまさに最高の1年となりました。

あらためまして、2022年度の運動に際し、ご協力をいただきましたすべての方々に心からの感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

2023年度は創立55周年の記念すべき年となります。もう1年理事長の職をお預かりできることに感謝し、愛する地域のために会員一同さらなる成長をすべく邁進して参りたいと思います。引き続き一層のご指導ご協力をお願い申し上げます、2022年度理事長報告とさせていただきます。

副理事長・専務理事・監事報告

副理事長 福原 基暢

2022年度は須金幹晴理事長の下、実りの多い一年であったと思います。まず、昨今のコロナ過に伴う活動の制限が緩和され、対外例会、対内例会ともに充実できました。本年度のスローガンである「必笑」これを、例会を通し達成できたと思います。中でも10月に行った小湊さとうみでの例会では、千葉県でグランプリに選ばれることとなりました。人数の少ない中こうした快挙を達成することができたのは、会員一人一人が楽しんで運営したからだと思います。また本年度は、会員拡大も進み前年よりもさらに会員数を増やすことができました。

本年度の活動は、55周年を迎える2023年度に向けてのいいステップとなったとなりました。2023年度もさらに飛躍できるよう、会員一同研鑽つみたいと思います。

OB諸先輩方におかれましてはご理解ご協力ありがとうございました。2023年度におかれましても引き続きよろしくお願い致します。

専務理事 四井 大介

2022年度は須金幹晴理事長の掲げるスローガン「必笑」の下、専務理事を務めさせていただきました。理事会ではZOOMから対面での開催に戻し、2020年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響により出口が見え始めました。近年苦戦していた会員拡大に於いても、須金理事長や諸先輩方のご尽力の元、新たに新入会員を5名迎えることができ、創立55周年に向けての良い兆しが見られた一年であったと思います。

しかしながら、一年間を通じて、例会や理事会での出席率の低下が課題であったと思います。2023年度も引き続き専務理事の任を仰せつかりましたので、迅速な案内と参加しやすい環境作りを今後の課題として組織運営に取り組み、より充実した活動と会員一人ひとりが成長できる機会を創出したいと思います。至らぬ点多々ありましたが、今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

監事 金杉 司

新年あけましておめでとうございます。

2022年度は須金理事長の下、常に新型コロナウイルス感染症による社会情勢を、常に頭に入れながらの活動となりました。

しかし、会員数は少ないながらも様々な事業を展開することで会員の資質の向上が見える場面も多く、この会の素晴らしさを改めて実感いたしました。

また、会員拡大においても5名入会と新たな仲間を迎え、今後に大きく期待が抱かせる一年となりました。

私自身も、鴨川青年会議所に育ててもらい様々な経験をすることができたように、これからの若い世代にも活動を通して自身が成長し、家族のため、会社のため、そして、鴨川市のためにより一層の活躍を期待いたします。

監事 齋藤 英之

新年あけましておめでとうございます。

2022年度、須金理事長が掲げるスローガン「必笑」そして、基本理念である、「仲間を信頼し、自信と誇りをもち青年会議所運動を実践する。」を基に監事として活動させていただきました。少ない会員数の中でも積極的に活動し、模擬理事会も開催するなど、一貫した事業を若手メンバーが経験できたことは大変良かったと思います。その成果が認められ、千葉ブロック協議会のアワード2022でグランプリを受賞できたことは大変誇らしく、素晴らしいものでした。

私自身もまだまだ未熟ではありますが、現役メンバーと共に成長させていただいた一年でありました。

今年度活動を応援していただいた皆様に感謝申し上げますと共に2023年度も引き続きよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

監事 菅原 明善

2022年度は、須金理事長が掲げたスローガン「必笑」の下、会員拡大や新入会員の育成に注力した1年だったと思います。新メンバーにも解りやすくJAYCEEとしての心構えを伝える対内例会や、実践的に委員長を経験してもらうことで、事業を構築していく上で必要な知識と経験を得ることができました。また、議案作成フォーマットを千葉ブロック協議会に習った形式に一新することで、ブロック出向時にも困らないようにとの理事長の配慮も素晴らしいものと感じております。今もなお新型コロナウイルスの影響はあるものの、理事会等は通常通りの対面ではば行うこともできました。今すべきことをしっかりと実践することで、55周年に向けての地盤固めも含め青年会議所らしい活動ができた年でした。

外部監事としてもう1年お世話になりますが、2022年度は本当にありがとうございました。

事項別事業報告

1. 組織

年頭会員 8名

新入会員 5名

1. 曾我部 隆之介 君
2. 畠山 公宏 君
3. 服部 雅史 君
4. 菅澤 敬太 君
5. 西川 吉保 君

退会者 1名

1. 飯沼 愛莉子 君

2. 会議

第1回定時総会

日時：2022年1月25日（火） 午後6時00分

場所：鴨川館 ※社会情勢悪化によりZOOM・WEB開催に変更

審議事項

- 第1号議案：2021年度一般社団法人鴨川青年会議所委員会事業報告の件
- 第2号議案：2021年度一般社団法人鴨川青年会議所決算案・監査報告の件
- 第3号議案：2022年度一般社団法人鴨川青年会議所年初決定事項承認の件
- 第4号議案：2022年度一般社団法人鴨川青年会議所事業方針承認の件
- 第5号議案：2022年度一般社団法人鴨川青年会議所予算案承認の件

決定事項

- 第1号議案：全員一致で可決
- 第2号議案：全員一致で可決
- 第3号議案：全員一致で可決
- 第4号議案：全員一致で可決
- 第5号議案：全員一致で可決

第2回定時総会

日時：2022年9月20日（火） 午後6時00分

場所：鴨川館

審議事項

- 第1号議案：2022年度補正予算（案）承認の件
- 第2号議案：2023年度理事長予定者承認並びに選挙管理委員会経過報告の件

第3号議案：2023年度役員予定者承認の件

決定事項

第1号議案：全員一致で可決

第2号議案：全員一致で可決

第3号議案：全員一致で可決

3. 理事会

第1回（定例）

日時：2022年1月11日（火） 午後7時30分

場所：ZOOM会議

審議事項

第1号議案：2021年度 収支決算（案）・正味財産増減計算書（案）・貸借対表（案）承認の件

第2号議案：2022年度 収支予算（案）承認の件

第3号議案：2022年度 2月例会事業計画書（案）承認の件

第4号議案：2022年度出向者承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

第3号議案：原案通り承認

第4号議案：原案通り承認

第2回（定例）

日時：2022年2月8日（火） 午後7時30分

場所：ZOOM会議

審議事項

第1号議案：1月総会事業報告書（案）・決算（案）承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第3回（定例）

日時：2022年3月15日（火） 午後7時30分

場所：ZOOM会議

審議事項

第1号議案：諸規定変更の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

協議事項

第1号議案：4月例会事業計画書（案）・予算（案）

第4回（定例）

日時：2022年4月5日（火） 午後7時30分

場所：ZOOM会議

審議事項

第1号議案：4月例会事業計画書（案）・予算（案）承認の件

第2号議案：新入会員承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

討議事項

第1号議案：5月例会事業計画書（案）・予算（案）

第5回（定例）

日時：2022年5月10日（火） 午後7時30分

場所：ZOOM会議

審議事項

第1号議案：5月例会事業計画書（案）・予算（案）承認の件

第2号議案：6月例会事業計画書（案）・予算（案）承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

第6回（定例）

日時：2022年6月7日（火） 午後7時30分

場所：ZOOM会議

審議事項

第1号議案：新入会員承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第7回（定例）

日時：2022年7月5日（火） 午後7時30分

場所：ZOOM会議

審議事項

第1号議案：5月例会事業報告書（案）承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

協議事項

第1号議案：9月第2例会事業計画書（案）・予算（案）

第2号議案：10月例会事業計画書（案）・予算（案）

第8回（定時）

日時：2022年8月9日（火） 午後7時30分

場所：ZOOM会議

審議事項

第1号議案：6月例会事業報告（案）・決算（案）承認の件

第2号議案：2023年度理事長予定者承認の件（選挙管理委員長経過報告）承認の件

第3号議案：10月例会事業計画書（案）・予算（案）承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

第3号議案：原案通り承認

協議事項

第1号議案：9月総会事業計画書（案）・予算（案）

第2号議案：10月第2例会事業計画書（案）・予算（案）

第9回（臨時）

日時：2022年8月22日（火） 午後7時30分

場所：小磯電機

審議事項

第1号議案：9月総会事業計画書（案）・予算（案）承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

協議事項

第1号議案：2022年度 補正予算（案）

第10回（定例）

日時：2022年9月6日（火） 午後7時30分

場所：小磯電機

審議事項

第1号議案：2022年度補正予算（案）承認の件

第2号議案：10月第2例会事業計画書（案）・予算（案）承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

第11回（臨時）

日時：2022年9月15日（木） 午後7時30分

場所：電子決議

審議事項

第1号議案：2022年度役員承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第12回（定例）

日時：2022年10月4日（火） 午後7時30分

場所：小磯電機

審議事項

第1号議案：11月例会事業計画書（案）・予算（案）承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第13回（定例）

日時：2022年11月8日（火） 午後7時30分

場所：小磯電機

審議事項

第1号議案：9月定時総会事業報告（案）・決算（案）承認の件

第2号議案：11月例会事業計画（案）・予算（案）承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

協議事項

第1号議案：年初決定事項（案）

第14回（定例）

日時：2022年12月7日（水） 午後7時30分

場所：小磯電機

審議事項

第1号議案：10月例会事業報告（案）・決算（案）承認の件

第2号議案：10月第2例会事業報告（案）・決算（案）承認の件

第3号議案：年初決定事項（案）承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

第3号議案：原案通り承認

協議事項

第1号議案：理事長所信

第2号議案：組織図

第3号議案：1月新年総会事業計画（案）・予算（案）

第15回（臨時）

日時：2022年12月27日（水） 午後7時30分

場所：電子決議

審議事項

第1号議案：理事長所信承認の件

第2号議案：組織図承認の件

第3号議案：1月新年総会事業計画（案）・予算（案）承認の件

第4号議案：11月例会事業報告（案）・決算（案）承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

第3号議案：原案通り承認

第4号議案：原案通り承認

4. 例会

- 1月 J C運動実践委員会
2022年度 新年総会 必笑
- 2月 J C運動実践委員会
鴨川青年会議所シニアクラブ総会 ※社会情勢悪化により中止
- 3月 J C運動実践委員会
※社会情勢悪化により例会実施せず
- 4月 J C運動実践委員会
J C I 鴨川 事業構築・議案作成研修会 ※社会情勢悪化により延期
- 5月 J C運動実践委員会
J C I 鴨川 事業構築・議案作成研修会
- 6月 J C運動実践委員会
J C I 鴨川 模擬理事会
- 7月 J C運動実践委員会
7月懇親例会
- 8月 J C運動実践委員会
令和2年度『成人の会』 ※社会情勢悪化により中止
- 9月 J C運動実践委員会
2022年度9月定時総会
- 10月 J C運動実践委員会
鴨川人口減少問題打開事業「さとうみフェスティバル～ふるさと応援チャリティ
ー企画～」

鴨川 J C 地魚釣ろう交流会 I N 第三新生合同丸
- 11月 J C運動実践委員会

鴨川街コン2022

12月 JC運動実践委員会
卒業式・合同忘年会

5. 委員会報告

J C運動実践委員会

委員長 田中さゆり

副委員長 佐藤和幸

委員 飯沼愛莉子 榊原寧 曾我部隆之介 畠山公宏 服部雅史
菅澤敬太 西川吉保

◎本年度事業方針

2022年度、(一社)鴨川青年会議所は、正会員8名でのスタートとなります。会員の減少が進む中で各々の負担は大きくなり、マイナス思考の消極的な活動になりつつあります。こうしたマインドを反転させるべく、会員一同交流を深めながらの自己成長と魅力あるJ C運動を実践して参ります。

J Cは金銭を得るための組織ではありません。各々が活動に積極的に参加するには、活動そのものに魅力がなければ続けていく事も、新たな会員を増やす事も難しいと考えます。その魅力とは、会員個人の人間性、楽しさ、達成感、雰囲気であると思います。例会や事業構築を進める中で、会員内での交流を深め、相互理解による人間関係の構築、事業を作り上げ、成功させる達成感、それに伴うポジティブな感情の雰囲気を醸成する事で、活動に積極的に参加する動機に繋がると考えます。

近年、高度に発達した情報通信技術の活用を下地に、私たちの取巻く環境は、生活様式の変化、業務の効率化、時間の短縮、新たなニーズの創造と拡大に繋がりました。しかし、日々新たに登場する新しい技術を一人ですべて把握することは非常に難しいと考えます。会員内で交流を活性化し、新たな技術や知識を得たならば、そのスキルや知識を共有、或いは、会員一人ひとりの持つ得意分野を不得手とするメンバー伝え、会員一人ひとりが共に成長しあう環境を作り上げます。

そして、私たちは変化する新次代の旗手として、行動しなければなりません。積極的に新たな技術の導入や知識を深め、活用する事で地域に波及させなければなりません。それを継続するには、多くの仲間と人と人の繋がりが必要不可欠となります。私たちの活動が地域の指針となり、地域の発展に一役立てるよう、一年間活動を進めてまいります。至らない点もあるかと思いますが、どうぞご支援の程よろしくお願い申し上げます。

◎本年度事業計画

1. 会員拡大
2. 例会の開催
3. 地域関連事業への協力

4. 千葉ブロック協議会事業への協力

◎各事業の経過報告

1. 本年度の新入会員は、曾我部隆之君、畠山公宏君、服部雅史君、菅澤敬太君、西川吉保君の5名の新入会員を迎える結果になりました。55周年を控え今後の会の運営や拡大運動に良い流れをもたらすものであると考えます。

2. 不安定な社会情勢のなかで毎月に例会を開催することはできませんでしたが、都度社会状況を考慮しながら、下記の通りに例会を開催しました。

1月 2022年度 新年総会 必勝

1月25日(火) 笹元

総勢15名 正会員 8名中6名出席 出席率75.0%

5月 JCI鴨川 事業構築・議案作成研修会

5月17日(火) サンセルモ玉泉院 鴨川会館

総勢13名 正会員 11名中7名出席 出席率63.6%

6月 JCI鴨川 模擬理事会

6月14日(月) サンセルモ玉泉院 鴨川会館

総勢12名 正会員 13名中10名出席 出席率76.9%

7月 7月懇親例会

7月19日(火) 藤よし

総勢15名 正会員 13名中11名出席 出席率84.6%

9月 2021年度9月定時総会

9月20日(火) 鴨川館

総勢20名 正会員 12名中9名出席 出席率75.0%

10月 鴨川人口減少問題打開事業「さとうみフェスティバル～ふるさと応援チャリティー企画～」

10月30日(日) 小湊さとうみ学校

総勢約800名 正会員 12名中10名出席 出席率83.3%

鴨川JCI 地魚釣ろう交流会 IN 第三新生合同丸

10月 2日(日) 第三新生合同丸
 総勢9名 正会員 12名中6名出席 出席率50.0%

11月 鴨川街コン2022
 12月 3日(土) 鴨川市内3店舗
 総勢56名 正会員 12名中9名出席 出席率75.0%

3. 地域関連事業のまるごみや棚田の明かり準備作業、小学校・中学校への講師参加等を各メンバー分担して参加しました。
4. 千葉ブロック協議会事業への協力として、千葉ブロック協議会主催の各種事業への参加、中期ビジョンの策定を行いました。

6. 収支決算報告

| 収入決算明細書 | | |
|--------------------------|-------------------------|------------------|
| 2022年1月1日から2022年12月31日まで | | |
| 会計:一般会計 | | |
| 事業区分A:本会計 | | |
| | | (単位:円) |
| 科目 | 摘要 | 金額 |
| 110 入会金収入 | | 60,000 |
| 100 入会金収入 | 新入会員4名×15,000 | 60,000 |
| 120 会費収入 | | 1,115,000 |
| 100 正会員会費収入 | | 815,000 |
| 100 年会費収入 | 正会員6名×120,000 2名×80,000 | 800,000 |
| 110 その他会費収入 | 特別会員1名 前年度貸し倒れ入金 | 15,000 |
| 110 特別会員会費収入 | シニアクラブ | 300,000 |
| 120 賛助会員会費収入 | | 0 |
| 130 事業収入 | | 0 |
| 150 預り金収入 | | 0 |
| 110 その他雑収入 | | 0 |
| 160 雑収入 | | 14 |
| 100 受取利息収入 | 郵便局・銀行利息 | 14 |
| 002 前期繰越収支差額 | | 2,510,345 |
| | 合計 | 3,685,359 |

| 経費決算明細書 | | | |
|--------------------------|---------------------|------------------|---------|
| 2022年1月1日から2022年12月31日まで | | | |
| 会計: 一般会計 | | | |
| 事業区分A: 本会計 | | | |
| | | | (単位: 円) |
| 科目 | 摘要 | 金額 | |
| 600 事業費支出 | | 1,712,956 | |
| 100 事業費支出 | | 1,712,956 | |
| 120 本部関係費支出 | | 427,849 | |
| 300 旅費交通費支出 | 会員会議所会議 他LOM新年会・周年他 | 100,000 | |
| 900 渉外費支出 | 全国大会 京都会議他 | 327,849 | |
| 150 資料作成費支出 | | 0 | |
| 500 資料費支出 | 総会資料 | 0 | |
| 180 渉外費支出 | | 527,386 | |
| 910 役員渉外費支出 | 会員拡大 消毒用アルコール寄付金 | 527,386 | |
| 930 記念品代支出 | 理事長記念品 | 0 | |
| 190 旅費交通費支出 | | 128,619 | |
| 320 交通費支出 | ブロック・他LOM事業参加費 | 128,619 | |
| 230 寄付金支出 | ボーイスカウト 国際交流協会 | 10,000 | |
| 250 預り金支出 | | 0 | |
| 260 会員拡大特別委員会事業費支出 | | 619,102 | |
| 120 事業予備費支出 | 事業予備費 | 0 | |
| 610 管理費支出 | | 566,149 | |
| 100 会議費支出 | | 0 | |
| 140 通信・発送費支出 | 電話 FAX 切手代 | 103,768 | |
| 150 消耗品費支出 | 事務用品 コピー用紙 | 15,435 | |
| 160 会員支給品費支出 | 手帳 名刺 | 137,990 | |
| 170 リース料支出 | | 0 | |
| 200 光熱水料費支出 | | 0 | |
| 210 貸借料支出 | | 20,000 | |
| 220 業務委託支出 | | 63,150 | |
| 260 渉外費支出 | 慶弔費 他 | 212,906 | |
| 270 雑支出 | 銀行振込手数料他 | 12,900 | |
| 620 負担金支出 | | 235,219 | |
| 100 JCI負担金支出 | 正会員6名×1,612他 | 12,925 | |
| 110 日本JC負担金支出 | 正会員6名×5,000+30,000他 | 70,000 | |
| 120 地区協議会負担金支出 | 正会員6名×1000+10,000他 | 13,000 | |
| 130 ブロック協議会負担金支出 | 正会員6名×5,000+20,000他 | 78,000 | |
| 140 国際協力資金支出 | 正会員6名×5×365日他 | 14,600 | |
| 160 WeBelieve購読料支出 | 正会員6名×3,000他 | 46,694 | |
| 630 他会計への繰入金支出 | | 0 | |
| 110 特別会計への繰入金支出 | | 0 | |
| 001 予備費支出 | | 1,171,035 | |
| 合計 | | 3,685,359 | |

7. 事務局準備金明細書、周年準備金明細書、 固定資産明細書、貸借対照表

| 事務局準備金明細書 | | | | | | |
|--------------|-----------|--------|--------|--------|-----------|-----|
| (単位:円) | | | | | | |
| | 前年度残高 | 本年度繰入額 | 本年度取崩額 | 受取利子 | 残高 | |
| 事務局準備金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 合 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | | | | |
| 周年準備金明細書 | | | | | | |
| (単位:円) | | | | | | |
| | 前年度残高 | 本年度繰入額 | 本年度取崩額 | 受取利子 | 残高 | |
| 周年準備金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 合 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | | | | |
| 固定資産明細書 | | | | | | |
| (単位:円) | | | | | | |
| | 購入金額 | 購入年度 | 償却期間 | 前年度評価額 | 本年度償却額 | 評価額 |
| アンプー式 | 181,230 | 2007年 | 5年 | 1 | 0 | 1 |
| プロジェクター | 215,000 | 2006年 | 5年 | 1 | 0 | 1 |
| 合 計 | 396,230 | | | 2 | 0 | 2 |
| | | | | | | |
| 貸借対照表 | | | | | | |
| (単位:円) | | | | | | |
| 科 目 | 金 額 | | | | | |
| 1. 資産の部 | | | | | | |
| 1. 流動資産 | | | | | | |
| 現金預金 | 1,121,033 | | | | | |
| 流動資産合計 | | | | | 1,121,033 | |
| 2. 固定資産 | | | | | | |
| 什器備品 | 2 | | | | | |
| 電話加入権 | 50,000 | | | | | |
| 固定資産合計 | | | | | 50,002 | |
| 資産合計 | | | | | 1,171,035 | |
| 2. 負債の部 | | | | | | |
| 負債合計 | | | | | 0 | |
| 3. 正味財産の部 | | | | | | |
| 正味財産 | | | | | 1,171,035 | |
| (内当期正味財産増減額) | | | | | | |
| 負債及び正味財産合計 | | | | | 1,171,035 | |

8. 財産目録、監査報告書

財産目録

(単位:円)

| 科 | 目 | 金 | 額 |
|---------------------------|---|---------|-----------|
| 1. 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | | | |
| ①現金 現金手有許高 | | 400,523 | |
| ②普通預金 | | | |
| 千葉銀行鴨川支店 No.1054108 | | 470,032 | |
| 京葉銀行鴨川支店 No.2287173 | | 0 | |
| 千葉興業銀行鴨川支店 No.2749251 | | 250,478 | |
| ③郵便預金 | | | |
| (a) 郵便局 No.10520-65532951 | | 0 | |
| (b) 郵便局 No.10580-35932871 | | 0 | |
| 流動資産合計 | | | 1,121,033 |
| 2. 固定資産 | | | |
| 什器備品 プロジェクター | | 2 | |
| 電話加入権 | | 50,000 | |
| 固定資産合計 | | | 50,002 |
| 資産合計 | | | 1,171,035 |
| 2. 負債の部 | | | |
| 負債合計 | | | 0 |
| 正味財産 | | | 1,171,035 |

監査報告書

自 2022年1月1日
至 2022年12月31日

2022年12月31日、一般社団法人鴨川青年会議所事務局に於いて金杉司、齋藤英之、菅原明善
監事は、2022年度の収支決算書、事業報告書、財産目録等関係書類を詳細に監査した結果
、その内容が適正で誤りの無かった事をここに報告申し上げます。

2022年度監事 金杉司

齋藤英之

菅原明善



9. 正味財産増減計算書

| 正味財産増減計算書 | | | |
|------------------|----|------------|------------|
| (2022年12月31日現在) | | | |
| | | | 単位:円 |
| 科目 | 金額 | 金額 | 金額 |
| (増加の部) | | | |
| 1 資産増加額 | | | |
| 什器備品 | 0 | | |
| 準備金 | 0 | | |
| 当期収支差額 | 0 | | |
| 増加額合計 | 0 | | |
| (減少の部) | | | |
| 2 資産減少額 | | | |
| 当期収支差額 | | -1,339,310 | |
| 固定資産除却額 | | 0 | |
| 準備金 | | 0 | |
| 電話加入権 | | 0 | |
| 3 負債増加額 | | 0 | |
| 減少額合計 | | -1,339,310 | |
| | | | |
| 当期正味財産増加額 | | | 0 |
| | | | |
| 当期正味財産減少額 | | | -1,339,310 |
| | | | |
| 前期繰越正味財産額 | | | 2,510,345 |
| | | | |
| 期末正味財産合計額 | | | 1,171,035 |

2023年度 理事長所信

理事長 須金 幹晴

《スローガン》

大一大万大吉

《基本理念》

地域を思い、地域のために、未来のために、誇りをもって青年会議所運動を実践し、地域と自身の発展と成長に繋げる

《基本方針》

自他共栄・自己成長
地域発展
布衣之交

《はじめに》

新型コロナウイルス感染症により、社会も私たちの生活も一変しました。物事に対する感覚や考え方も同様です。当たり前に行えることが当たり前に行えなくなる社会となりました。

青年会議所においても、会議・事業の手法をはじめ様々なところで変革を余儀なくされました。コロナ禍と言われる不安定な社会情勢で、一時は事業自体の中止や事業規模の縮小など青年会議所運動自体が思う様にできない時もありました。

現在では、パブリックスペースなどの感染症対策、ワクチン接種など様々な社会的、経済的な措置が行われ、各企業や個人単位でも様々な対策を講じており、状況は快方に向かっていると感じられます。もはや未知の病原菌と共に生き抜く、上手に付き合うという考え方が主流になっております。

そのようななかで、全国各地の青年会議所は状況を鑑みながら、制限がかかるなかではありますが、感染対策を十分に講じ、明るい豊かな社会のために、地域、自分たちに必要とされる運動を、歩みを止めることなく邁進してまいりました。私たち鴨川青年会議所においても運動の歩みを止めることなく地域の社会課題を分析し、より良い地域のために情熱と誇りをもって運動を展開しております。

《自他共栄・自己成長》

社会を成し、団体生活を営んでいる以上、その団体・社会を組織している各成員が、その他の成員と相互に融和協調して、共に生き栄えることほど大切なるはあるまい。各成員がことごとく相互に融和協調しておれば、おのれのはたらきがおのれ自身の益となるのみならず、他をもまた同時に利し、共々幸福を得るは明らかであり、他の活動がその人自身のためばかりでなく、おのれを始めその他の一般の繁栄を増すはもちろんのことである。

柔道 講道館 嘉納治五郎先生の教えの一つであります。

強い信念と行動が自身の発展と成長を促すのみではなく、会員相互、様々な人々や団体、そして地域を巻き込んだ「福」をもたらすことができ、自他共に栄えるはまさに青年会議所運動であると強く信じております。強い信念と誇りを持ち柔軟な行動力で青年会議所運動を実践してまいります。

青年とは、人の成長過程における一時期の事であり、広く社会のなかで自立を獲得していく年代であると言われます。青年の青は草花、木々が芽吹く青、すなわち成長、成熟を意味する清々しい色である、と考えます。

青年会議所という名のもとに集う私たち青年世代は、社会を形成するうえで最も発言力、影響力、実行力等様々なスキルを身につけ備える世代であるべきです。失敗を恐れず様々なことに挑戦し、自己研鑽・成長する青色の世代です。運動を通じて自身を磨き、会員相互に成長し、個人の実生活、地域の発展に繋がられるような運動を展開いたします。また、地域のリーダーとしても期待されるべき存在として、「成長」という目標を大きく掲げ運動を邁進いたします。

《地域発展》

私たち鴨川青年会議所は、自身が生活する地域を愛し、この地域をより良くしようと志を同じくしています。

鴨川市は、海と山に囲まれ自然環境豊かなまちです。地域の魅力を再確認し、引き立たせ、この地域で生活する人々が地域を誇りに思い、愛し、そしてその愛を広げ、未来を期待し繋げることのできる運動を青年らしい発想と行動力で展開します。

また、鴨川をはじめとする南房総地域の人口減少や過疎化の流れは進んでいく一方です。そのような時だからこそ、持続可能な社会、元気と活力あふれる地域の創造とそれを未来に繋げる役割は、間違いなく私たち青年世代です。成長と共に地域発展のため、心ひとつに団結し運動を展開いたします。

2023年度は関東地区大会が隣の地区、館山の地で開催されます。副主幹会員会議所として南房総地域を盛り上げるべく、地域相互に発展していけるよう会員一丸となり最大限に協力参加いたします。

《布衣之交》

ふいのまじわり、身分や地位などにこだわらない心からの交わりを言います。青年会議所で培う人間関係、絆は単なる先輩、後輩、友人、仕事の付き合いの交友関係とは少し違う、別次元の絆が生まれます。

私たち鴨川青年会議所は少ない人数ながらも、強い絆で結束し、意欲的に運動を継続しております。確かに困難であり、一人ひとりの負担・労力は私が入会した頃とは比べ物になりません。しかし人数が少ないからこそ仲間を信頼し合う強い結束力・絆が生まれ、困難なことも楽しく思えるようになりました。

現会員の約半数は純粋な鴨川生まれ鴨川育ちではありません。別の地域で生まれ育ち、仕事・生活の拠点が鴨川になり入会をしています。私の好きな考え方で「血より地」という考え方があります。人種や国籍・生まれた育った地域よりも自らが選んだ実生活の拠点地域を優先させるという考え方です。まさに鴨川青年会議所メンバーはこれを実践しています。鴨川の地域に生活の拠点をを選び、この地域のために奮起し青年会議所運動をともにしてくれていることに、あらためて最大級の感謝と敬意を表します。

上述の通り、2023年度は関東地区大会が館山の地で開催されます。運動を通じ幅広く、一層JCの輪を広げることが可能です。JC運動の最大の魅力は、人の輪(和)が地域を超え無限に広がることであると考えます。

青年会議所運動を通じて出逢えたメンバー同士、一生の絆を構築し、お互いを強く信頼し、心から笑い合い、切磋琢磨し相互に成長し合える運動を展開いたします。

《結びに》

鴨川青年会議所は、2023年度創立55周年を迎えることとなりました。記念すべき年度もこの地域で青年会議所運動を続けられること、歴史を継承することへの感謝と誇りを持ち、多くの諸先輩が地域のために繋いでこられた青年会議所運動を、メンバー一丸となり情熱と誇りをもって継承し、実践することを強くお誓い申し上げます。

2023年度スローガン「大一大万大吉」

大とは天下を意味し、天下のもとで一人が万民のために、万民が一人のために・・・という世の中になればすべての人が吉(幸福)となり、太平の世が訪れるというものです。青年会議所運動の醍醐味である「成長」をこの言葉にあてはめ、一人が全体の成長を促し、全体が一人の成長を助ける、そんな運動、組織運営を行って参ります。

未来がどうなるかは誰にもわかりませんが、誰に委ねられているのかはわかります。それは間違いなく私たち青年世代に委ねられており、青年会議所運動はその先駆けとなるべく邁進いたします。人数が少なく一人ひとり、はじめは小さく弱い力でも、会員が志を同じく団結し、誇りと情熱のある運動を展開し、地域を盛り上げ大きな「吉」をもたらすことができるのは青年会議所運動であると確信しております。

最後に、創立55周年の記念すべき年度も誇りある青年会議所運動を実践すべく皆様か

らの一層のご理解とご協力、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げ、2023年度第55代理事
長所信とさせていただきます。

2023年度 事業計画

J C運動実践委員会

委員長 田中 さゆり

| | | | |
|---------------|--|---------------|-----------|
| 委員会日 | 毎週または隔週月曜日 | | |
| 事業方針 | | | |
| 理事長所信参照 | | | |
| 事業計画 | 1. 創立55周年記念式典・祝賀会の実施 2. 創立55周年記念事業の実施 3. 地域関連事業(ほこてん・花火大会など)への協力 4. 千葉ブロック協議会事業への協力 5. 関東地区協議会館山大会への協力 | | |
| 予算 | 金額(単位・円) | 備考(参考) | |
| 1月例会 | 65,000 | 新年総会 | |
| 2月例会 | 0 | 55周年 決起大会 | |
| 3月例会 | 0 | ブロック事業 研修 | |
| 4月例会 | 0 | ブロック事業 研修 | |
| 5月例会 | 300,000 | 55周年記念事業 特攻隊 | |
| 6月例会 | 0 | 関東地区大会 参加 | |
| 7月例会 | 0 | 関東地区大会 参加 | |
| 8月例会 | 0 | 会員交流 | |
| 9月例会 | 45,000 | 定時総会 | |
| 10月例会 | 0 | 式典・祝賀会準備 | |
| 11月例会 | 100,000 | 55周年記念式典・祝賀会 | |
| 12月例会 | 0 | 卒業例会 | |
| 予備費 | 0 | | |
| 合計 | 510,000 | | |
| 月別活動計画 | | | |
| 10月 | 関東地区大会 | 1月定時総会 | 2月例会 |
| 11月 | | | 3月例会 |
| 12月 | | | 4月例会 |
| 1月 | | | 5月例会 |
| 2月 | | | |
| 3月 | | | |
| 4月 | | | 8月例会 |
| 5月 | | | 9月定時総会 |
| 6月 | 7月例会 | | 10月・11月例会 |
| 7月 | | | |
| 8月 | | | |
| 9月 | | | |
| 10月 | | | |
| 11月 | | | |
| 12月 | | | 12月例会 |
| | | | |

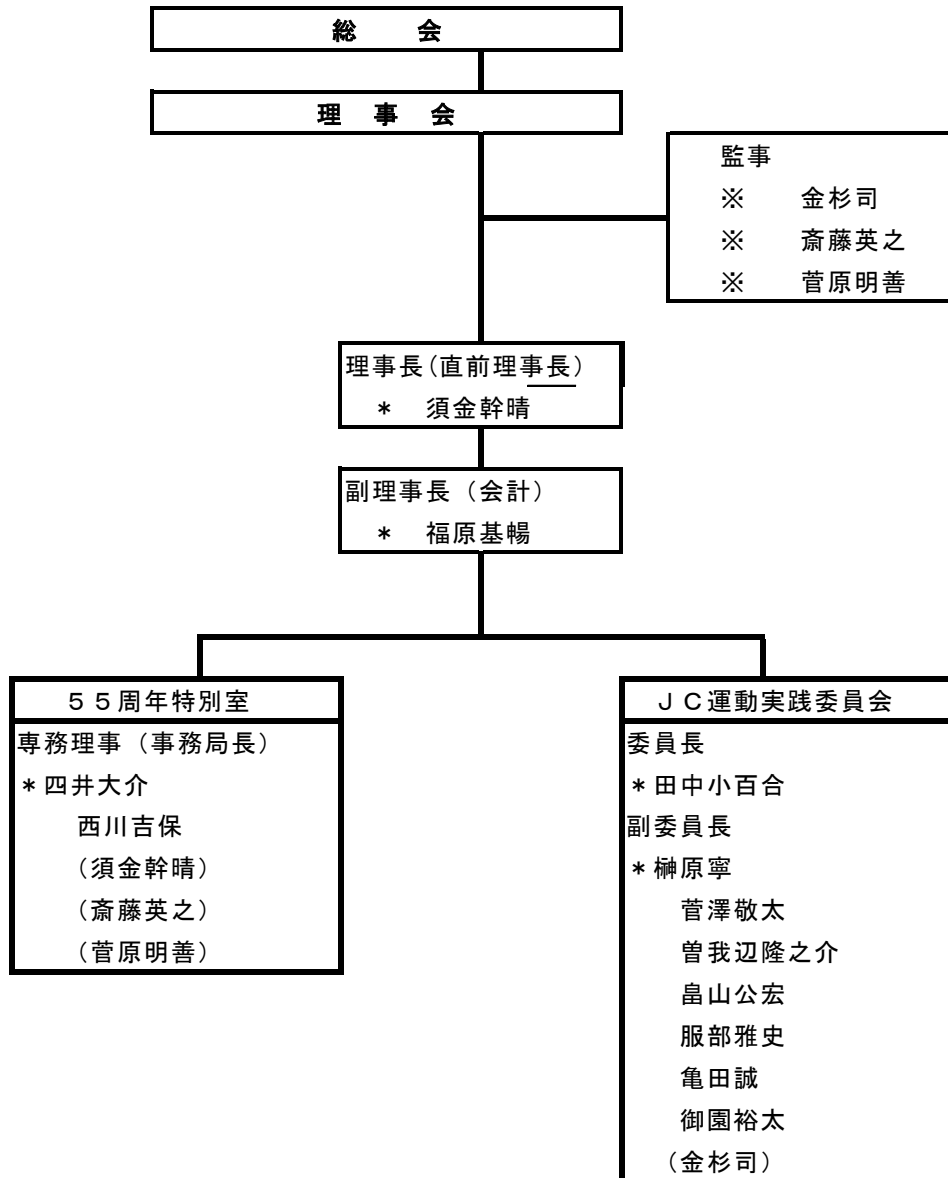
2023年度 収支予算

| 収入予算明細書 | | |
|--------------------------|-----------------------------------|------------------|
| 2023年1月1日から2023年12月31日まで | | |
| 会計: 一般会計 | | |
| 事業区分A: 本会計 | | |
| (単位: 円) | | |
| 科目 | 摘要 | 金額 |
| 110 入会金収入 | | 45,000 |
| 100 入会金収入 | 新入会員3名×15,000 | 45,000 |
| 120 会費収入 | | 1,420,000 |
| 100 正会員会費収入 | | 740,000 |
| 100 年会費収入 | 正会員5名×100,000 5名×40,000 2名×20,000 | 740,000 |
| 110 その他会費収入 | | 0 |
| 110 特別会員会費収入 | シニアクラブ | 500,000 |
| 120 賛助会員会費収入 | 18名×100,000 | 180,000 |
| 130 事業収入 | | 0 |
| 150 預り金収入 | | 0 |
| 110 その他雑収入 | | 0 |
| 160 雑収入 | | 10 |
| 100 受取利息収入 | 郵便局・銀行利息 | 10 |
| 002 前期繰越収支差額 | | 1,171,035 |
| | 合計 | 2,636,045 |

| 経費予算明細書 | | | |
|--------------------------|-------------------------|------------------|--------|
| 2023年1月1日から2023年12月31日まで | | | |
| 会計:一般会計 | | | |
| 事業区分A:本会計 | | | |
| | | | (単位:円) |
| 科目 | 摘要 | 金額 | |
| 600 事業費支出 | | 1,971,721 | |
| 100 事業費支出 | | 1,971,721 | |
| 120 本部団関係費支出 | | 402,000 | |
| 300 旅費交通費支出 | 会員会議所会議 他LOM新年会・周年他 | 200,000 | |
| 900 渉外費支出 | 全国大会 京都会議他 | 202,000 | |
| 150 資料作成費支出 | | 30,000 | |
| 500 資料費支出 | 総会資料 | 30,000 | |
| 180 渉外費支出 | | 589,721 | |
| 910 役員渉外費支出 | 会員会議所会議登録料 他LOM新年会・周年他 | 589,721 | |
| 930 記念品代支出 | 理事長記念品 | 0 | |
| 190 旅費交通費支出 | | 400,000 | |
| 320 交通費支出 | ブロック出向者 ブロック・他LOM事業参加費他 | 400,000 | |
| 230 寄付金支出 | ボーイスカウト 他 | 40,000 | |
| 250 預り金支出 | | 0 | |
| 260 会員拡大特別委員会事業費支出 | | 510,000 | |
| 120 事業予備費支出 | 事業予備費 | 0 | |
| 610 管理費支出 | | 355,000 | |
| 100 会議費支出 | | 0 | |
| 140 通信・発送費支出 | 切手代 他 | 100,000 | |
| 150 消耗品費支出 | 事務用品 他 | 40,000 | |
| 160 会員支給品費支出 | 名刺 ネームプレート 他 | 80,000 | |
| 170 リース料支出 | | 0 | |
| 200 光熱水料費支出 | | 0 | |
| 210 貸借料支出 | | 30,000 | |
| 220 業務委託支出 | 役員登記料等 | 40,000 | |
| 260 渉外費支出 | 慶弔費 | 50,000 | |
| 270 雑支出 | 銀行振込手数料他 | 15,000 | |
| 620 負担金支出 | | 309,324 | |
| 100 JCI負担金支出 | 正会員13名×2,158円他 | 36,974 | |
| 110 日本JC負担金支出 | 正会員13名×5,000円他 | 107,500 | |
| 120 地区協議会負担金支出 | 正会員13名×1000円他 | 13,000 | |
| 130 ブロック協議会負担金支出 | 正会員13名×5,000円他 | 78,000 | |
| 140 国際協力資金支出 | 正会員13名×5×365日他 | 32,850 | |
| 160 WeBelieve購読料支出 | 正会員13名×3,000円他 | 41,000 | |
| 630 他会計への繰入金支出 | | 0 | |
| 110 特別会計への繰入金支出 | | 0 | |
| 001 予備費支出 | | 0 | |
| 合計 | | 2,636,045 | |

2023年度 組織図

* 理事
 ※ 外部 監事



2023年度（一社）鴨川青年会議所役員名簿

理事長 須金 幹晴

直前理事長 須金 幹晴

副理事長 福原 基暢

専務理事 四井 大介

理事 榊原 寧 田中 さゆり

監事 金杉 司 齋藤 英之 菅原 明善

2023年度 出向者名簿

(公社) 日本青年会議所 関東地区 千葉ブロック協議会

拡大交流委員会
連携推進委員会

会計幹事 四井 大介
副委員長 福原 基暢

2023年度 年初決定事項

- | | | |
|--------------|-------------------------|------------|
| 1. 例会日 会場 | 第2水曜日 房総鴨川温泉 是空（事務局） | |
| 2. 理事会 会場 | 第1水曜日 小磯電気工業内 | |
| 3. 会費 | 正会員（入会5年以上） | ¥ 100,000- |
| | 正会員（入会5年未満） | ¥ 40,000- |
| | 入会初年度正会員 | ¥ 20,000- |
| | シニアクラブ | ¥ 500,000- |
| | 賛助会員 | ¥ 10,000- |
| 4. 入会金 | | ¥ 15,000- |
| 5. 例会担当 | J C 運動実践委員会 | |